

2023年4月1日

会員各位

公益社団法人日本地すべり学会
地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク

地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク活動の継続と再募集

令和3(2021)年9月に発足した標記ネットワークは、本年の令和5(2023)年8月をもって予定の活動期間を完了します。しかしながら、国土交通省の令和5年度 BIM/CIM 原則適用の実施等により、業務および工事において BIM/CIM への取り組みが一層進展することが予想されます。また、これまでに行った4回のオンライン会合やアンケート結果等から、未だ多くの課題や要望があり、それらをテーマとしたオンライン会合や現地実習などを企画し、ネットワークの活動を継続することとしました。

そこで、地すべり学会 BIM/CIM ネットワークへの参加者とネットワークを企画・運営するオーガナイザーを追加募集します。参加者やオーガナイザーを希望される方に BIM/CIM の経験は問いません。この機会に、是非、地すべり学会 BIM/CIM ネットワークにご参加ください。

記

1. 「地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク」とは

地すべりの調査・観測、地すべり対策の計画・設計・施工・維持管理、また、地すべり災害への迅速な対応における BIM/CIM の活用について、関わった事例を紹介したい・自慢したい、BIM/CIM の活用方法を知りたい、今はただ話だけ聞いてみたい、何となく面白そうなので覗いてみようかな、会社の中では BIM/CIM に関わっている技術者が少ないので社外に友達が欲しい、という人たちが気ままに集って意見交換する場です。

地すべり学会 BIM/CIM ネットワークではオンライン会合のほか、メーリングリストやオンラインストレージ (TEAMS) による情報交換などの活動を行っています。会員であれば、どなたでも参加できます。

2. 運営方法

- ①地すべり学会 BIM/CIM ネットワークの全体会合は3ヶ月に1回(1.5時間程度)程度でオンライン開催し、講演や事例紹介等のセミナー形式による情報交換を行っています。
- ②実際の企画運営は下記で募集するオーガナイザーに任せられます。
- ③ネットワーク参加者によるメーリングリストやオンラインストレージを利用して、各種情報やオンライン会合などの案内を周知・共有しています。

3. オーガナイザーの役割

- ①オーガナイザーは、3名1組を基本に、全体会合の企画と運営を行います。
- ②オーガナイザーの役割は、開催日時の設定とテーマの企画、オンライン会合の準備、プログラム作成と講演者への依頼、当日の会議進行などです(1人あたり年に1回程度担当)。
- ③ご自身の名刺に「地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク オーガナイザー」と記載し、学会およびオーガナイザーご自身が「地すべり CIM」を支援していることを広く PR いただきます。

- ④開催時間およびその準備のために要した時間については、委員会活動としてCPD申請が可能です。
- ⑤オーガナイザーの期間は1年間とします。ただし、更新の希望は妨げません。
- ⑥オンライン開催を基本としますので、どこにお住まいになっても支障はありません。

4. BIM/CIM ネットワークへの参加およびオーガナイザーの申込み方法

地すべり学会 BIM/CIM ネットワークへの参加を希望される方は、下記に沿って申込みを行ってください。また、オーガナイザーを希望する方は参加申込みの際に合わせてお知らせ下さい。

- ・申込期限:2023(令和5)年4月26日(水曜日)
- ・申込方法:下記の事項をメールにてお知らせください

メールアドレス:contact1@landslide-soc.org

連絡事項:氏名、勤務先、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)・会員番号
オーガナイザーの希望の有無

以上、多くの方のご応募をお待ちしています。なお、オーガナイザーについては、希望者多数の場合は、申し込み順とさせていただきます。ご了承ください。

(以上)

【参考:今までに開催したオンライン会合の概要】

・第1回オンライン会合(2021年12月14日開催)

講演者:国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム
上席研究員 杉本宏之氏
テーマ:地すべりCIM活用の現状と方向性

・第2回オンライン会合(2022年5月26日開催)

講演者:国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム
交流研究員 今江健太氏、北村和輝氏
テーマ:地すべり災害対応のBIM/CIMモデルの作成・操作デモンストレーション

・第3回オンライン会合(2022年9月1日開催)

講演者:①日本工営株式会社 山口裕二氏
②株式会社ワールド測量設計 花本孝一郎氏
テーマ:①地すべり防止施設設計におけるCIM活用の事例報告
②グラウンドアンカー工の3次元設計事例

・第4回オンライン会合(2023年1月26日開催)

講演者:①山根裕之氏(伊藤忠テクノソリューションズ株式会社):GEORAMAのご紹介
②西山昭一氏(応用地質株式会社):GeoToolsのご紹介
③関家史郎氏(五大開発株式会社):MakeJibanのご紹介
④濱崎英作氏(株式会社アドバンテクノロジー):ADCALC 3Dのご紹介
講演内容:3Dの地質、地下水等モデリングの概要およびその手法
3Dモデリングソフトの使い方
ソフトウェアの特徴や具体的な活用事例の紹介
特に地すべりに関わる事例紹介